

平成29年度

熊谷市立三尻中学校 道徳だより



第 1 号

【道徳教育の重点目標】 心豊かで、人に対して思いやりのある生徒の育成

昨年度は、本校の道徳教育への御支援、御協力、ありがとうございました。今年度も『道徳だより』を発行し、道徳教育に関して、学校でどんな取り組みをしているのか、子どもたちはどんな学習をし、授業を通してどんな考えや思いをもったのかを紹介していきたいと思います。また、心が温くなるエピソードや詩の紹介もしていきたいと考えています。

学校における道徳教育は、子どもたちが人間の在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育てていくことを目指しています。そこで、道徳の時間(年間35時間)を要として、日々の学習活動、体験活動など、学校の教育活動全体を通して子どもたちの道徳性を育む指導を行っています。道徳の時間では、副読本や「彩の国道徳」、「心の絆」をはじめとして様々な資料を使い、様々な価値項目について考え、道徳的実践力を身につけていきます。ただ、道徳の授業を行ったからといって、すぐに子どもたちが変わるわけではありません。授業を地道に行うことで、そして、学校と家庭・地域が同じ視点に立ち、子どもたちの豊かな心を育てていくことで、道徳性を自覚し、実践にもつながっていくものだと思います。この「道徳だより」が学校と家庭・地域との懸け橋となり、道徳性の育成の一助となると努めていきたいと思っています。御家庭でお子様を交えて道徳の時間について話をする機会を設けていただけるとありがたいです。宜しくお願い致します。生徒の皆さんは、この「道徳だより」を通じて、多様な考えに触れ、自分の考えを深めて心の糧を増やしていきましょう。

5月1日(月)の授業参観では、1・2年生全クラスが道徳授業を行いました。第1号では1年の授業について紹介したいと思います。

## ★ 1年生の道徳…

【資料】『長縄跳び』(副読本:「かけがえのないきみだから」より)

### 【概要】



体育委員の「ぼく」は、学級委員の木村の声がけを受け、“2組を優勝させよう”と決心する。しかし、体育委員の仕事の忙しさや、練習しても思うように回数が伸びなくなったいらだちから出る遠慮のない文句、悪化するクラスのムードで投げやりの気持ちになっていく。“もう、どうでもいいや…”とさえ思っていた「ぼく」は、困難な状況でも、クラスを一つにしようと必死に呼びかけを続ける木村の姿を見て、無性に恥ずかしくなり、見失っていた自分の役割を自覚して最後の練習に取り組もうとするのだった。

### 【おらい】

集団における自己の立場や役割を理解し、進んで集団生活の向上に努めようとする態度を養う。

【4-(4)集団生活の向上、役割と責任】

### <授業の感想…>

- 今日の授業で、自分の役割に責任をもつことが大切なんだと改めて感じました。やはり、1人でも自分の役割を守れない人がいると、クラス全体に関わってくると思います。だから、私は、どんな小さな役割でもしっかり果たしていきたいです。また、体育祭では、みんなと協力して活動したいです。
- 自分のもっている大切な役割を果たすことが大切だし、それを最後までやりきることも大切だと思いました。なんでも人に押しつけるのではなく、自分の仕事・役割はしっかりと責任をもってやりきることがあたりまえだと分かりました。口だけで、何か嫌なことがあるからとあきらめてしまうと、クラスの人にも大迷惑だし、自分もスッキリしないまま終わってしまうと思いました。だから、自分の任せられた仕事は責任をもって最後までやり通せるようにしたいなと改めて思いました。
- 今回の授業を通して、私も、「ぼく」と「木村」のように自覚をきちんと持って行動したいと思いました。中学生になって、委員会と体育祭など、何かと両立しなければいけないこともあるけど、あきらめない心をもった「木村」と、自分のやるべきことに気付いて「ぼくがクラスをまとめるんだ」という大切な気持ちをもった「ぼく」のように、私たちのクラスもクラスのために声をかけられる人が増えればいいなと思いました。
- 私は、「ぼく」のように役割がありながら、理由をつけてしっかり行動することができていませんでした。でも、「木村」のように役割をしっかりと果たし、クラス全体の心が一つになるように努力していきたいと思います。体育祭では、みんなで協力して、どのクラスよりも多くの回数を跳び、どのクラスよりも心をつにして優勝したいです。何かが大変でも、しっかりと役割を果たし、焦らずに何事にもチャレンジしたいです。

### <集団として目標を達成するために大切なことは？>

- 大変だからと勝手に言い訳を作らず、その集団の一員として何ができるかを考える。人間だから間違えはあると思うので、たとえ間違えやミスをしたとしても、一人を責めずに励まし合う。
- みんなを励ますことや、今回の資料にあったように、途中でチームワークが崩れたとしても、みんなが一つになっていけるようにする。一人一人に責任があるのが集団だと思うし、いつもクラスの一員として何か今自分にできることがあるのかを考えて行動していく。
- 自分のことでいっぱいになるのではなく、他人ことにも頭と心を働かせ、アドバイスや助言などをして、互いに高め合っていくことが大切。
- ひとりひとりが自分のことをやりつつも、集団での目標の達成に向けて頑張ることが大切。

\* 保護者の皆様からの御意見、御感想をお待ちしています。

切り取り線

※「道徳だより」や授業参観の御感想、道徳教育に関する御意見などをお聞かせください。

【提出は担任にお願いします。】